

大子町(だいごまち)

法人番号 4000020083640

	町章	〒 319-3521 〈住所〉久慈郡大子町大字北田気662番地 〈TEL〉0295-72-1111 〈FAX〉0295-72-1167 〈HP〉http://www.town.daigo.ibaraki.jp/ 〈e-mail〉info@town.daigo.lg.jp	地域指定	一部事務組合加入事業	公営企業 <small>※令和5年3月31日現在</small> 法適用(上水) 法非適用(特定地域生活排水)
	類型	IV-1 地方公共団体コード	083640	面積	325.76 km ²

<行政組織>

①長等(令和5年5月1日現在)

長	たかなし つつひこ 高梨 哲彦 (54歳)	任期	令和9年1月11日
		就任回数	2期目
副町長	赤津 康明		

②議会(令和5年5月1日現在)

議長	菊池 靖一	副議長	齋藤 忠一
任期	令和6年3月30日	条例定数	13人
		現議員数	13人
党派別	自民3人、公明1人、無所属9人		

③職員数(令和4年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業会計関係
247	216	157	31
一般行政職の平均給料月額	2,991 百円	ラスパイルズ指数 98.8	地域手当補正後ラス指数 98.8
全職員数の推移	平成31年4月1日	令和2年4月1日	令和3年4月1日
	250	245	246

④機構図(令和5年4月1日現在)

〈町長〉 - 〈副町長〉
総務課 まちづくり課 財政課 税務課 農林課 観光商工課 建設課 福祉課 健康増進課 生活環境課(環境センター、衛生センター) 町民課
〈会計管理者〉 会計課
〈消防本部〉 消防課、警防課、予防課、消防署
〈水道事業〉 水道課
〈教育委員会〉 教育委員会事務局
〈農業委員会〉 農業委員会事務局
〈行政委員会〉 選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会
〈議会〉 議会事務局

<概要>

①沿革

昭和30年3月31日 合併 大子町 依上村 佐原村 黒沢村 宮川村 生瀬村 袋田村 上小川村 下小川村の一部
--

②地勢・風土等

茨城県の最北西端に位置し、北は福島県、西は栃木県に接するやや南北に長いほひし形の形をした広大な町である。面積の約8割は、八溝山系と阿武隈山系からなる山岳地である。気候は低温多雨の寒暖の差が大きい山岳気候で、この特性を活かしてお茶、りんご、こんにゃく、お米などの多くの特産物が生産されている。日本三名瀑の一つ袋田の滝をはじめ、県内最高峰の八溝山や男体山の秀峰、久慈川の清流、奥久慈温泉郷などの自然資源に恵まれた山紫水明の地で、年間150万人の観光客が訪れる観光と農林業の町である。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (令和5年4月1日)
	平成22年	平成27年	令和2年	
人口	男	9,780	8,765	7,692
	女	10,293	9,288	8,044
	合計	20,073	18,053	15,736
世帯数	7,140	6,733	6,356	6,205

④有権者数(令和5年3月1日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合
	6,899	7,025	13,924	

<産業・経済>

①生産・所得(令和2年度)

市町村内総生産	493 億円	住民所得	378 億円
		人口1人当り住民所得	2,404 千円

②産業構造

区分	総生産額(令和2年度)	就業人口(令和2年国調)
第1次	3,524 7.2%	1,113 14.6%
第2次	11,497 23.3%	2,306 30.2%
第3次	34,027 69.0%	4,220 55.2%
総額・総数	49,284 -	7,639 -

③農業・工業・商業

	農家数	主業農家数	農業就業人口
農業 (令和2年2月1日)	1,676	103	1,615
製造業 (令和3年6月1日)	事業所数 35	従業者数 795	製造品出荷額等 (R2.1.1~12.31) 14,179
卸・小売業 (令和3年6月1日)	事業所数 241	従業者数 1,065	年間販売額 (R2.1.1~12.31) 13,447

④特産物

大子産米、奥久慈茶、奥久慈りんご、生いもこんにゃく、常陸大黒、奥久慈じゃも、久慈川の鮎、大子漆(うるし)、大子那須栳(こうぞ)、八溝材

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	増減率
歳入	14,152,294	12,957,703	△ 8.4
歳出	13,132,406	11,442,691	△ 12.9
形式収支	1,019,888	1,515,012	-
実質収支	960,544	1,494,968	-
単年度収支	414,519	534,424	-
実質単年度収支	516,832	832,632	-

②主な歳入・歳出(令和3年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	12,958	-	△ 1,194	△ 8.4
地方税	1,649	12.7	△ 58	△ 3.4
地方交付税	4,371	33.7	395	9.9
国庫支出金	1,418	10.9	△ 2,790	△ 66.3
地方債	1,800	13.9	447	33.0
うち臨財債	272	2.1	65	31.4
その他	3,720	28.8	812	27.9
うち繰入金	454	3.5	247	119.3
歳出	11,443	-	△ 1,689	△ 12.9
義務的経費	4,477	39.1	287	6.8
人件費	2,012	17.6	26	1.3
扶助費	1,421	12.4	228	19.1
公債費	1,044	9.1	33	3.3
投資的経費	2,428	21.2	△ 41	△ 1.7
普通建設事業費	2,288	20.0	1,237	117.7
うち補助	345	3.0	102	42.0
うち単独	1,914	16.7	1,106	136.9
その他の経費	4,538	39.7	△ 1,935	△ 29.9
うち繰出金	957	8.4	15	1.6

③主要指標(令和3年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (14.17)
連結実質赤字比率	- % (19.17)
実質公債費比率	3.3 % (25.0) [6.3]
将来負担比率	28.9 % (350.0) [28.8]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(令和4年度)	0.319	[0.677]
経常収支比率	83.3 %	[85.7]
標準財政規模(令和4年度)	6,385 百万円	[16,143]
地方債現在高(A)	10,849 百万円	[26,406]
債務負担行為支出予定額(B)	1,197 百万円	[5,315]
積立金現在高(C)	3,875 百万円	[7,343]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	8,171 百万円	[24,378]

※1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(令和3年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	555,620 (29.7)	536,398 (32.5)	96.5 [97.2]
市町村民税・法人 (構成比)	77,600 (4.2)	76,263 (4.6)	98.3 [98.7]
固定資産税 (構成比)	1,042,898 (55.8)	847,765 (51.4)	81.3 [97.1]
市町村税合計 (国保除く)	1,867,638	1,648,681	88.3 [97.3]

<公共施設整備状況>(令和3年度)

※1は令和4年度
道路改良率・舗装率は令和2年度

小学校 ※1	6 校	体育館	2 か所
中学校 ※1	4 校	プール	0 か所
義務教育学校 ※1	0 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	1 園	老人福祉施設	9 か所
保育所 ※1	5 か所	病院・一般診療所	8 か所
認定こども園 ※1	0 園	道路改良率	40.4 %
図書館	0 か所	道路舗装率	65.8 %
公営住宅	220 戸	上水道等普及率	99.3 %
公民館等	3 か所	汚水処理普及率	57.8 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
交流拠点施設建設事業	R5 ~ R6	まちなかの賑わいを創出するため、常陸大子駅前に観光交流拠点を整備する。	123
観光交流施設工事設計業務	R5	「防災道の駅」の整備に併せて、旧役場庁舎跡地に観光交流施設を整備し、中心市街地の活性化を図る。	35
地域資源を生かした水郡線活性化事業	R5	地域資源である「りんご」をテーマに常陸大子駅から百段階にかけて装飾等を行い、水郡線とまちなかの活性化を図る。	7
防災対応型炊飯センター建設事業	R5	学校給食を安心安全で安定的に供給するため、学校給食センター敷地内に炊飯施設を建設する。	212
中高連携(大子清流高校魅力化)事業	R5	「地域みらい留学」プラットフォームに参画し、全国から大子清流高校への入学者を増やすことや、公営塾を立ち上げ受験実績の拡大を図る。	31

②今後の主要課題・特色ある行政等

1 誰もが安心・安全に暮らせる思いやりに満ちたまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強く安全なまちづくりの推進 ・持続可能で快適なまちづくりの推進 ・誰もが健やかに暮らせる安心なまちづくりの推進
2 未来を担う心豊かな人を育むまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・人と文化を育む心豊かなまちづくりの推進 ・未来を担う子育てを支援するまちづくりの推進
3 元氣、にぎわい、活力ある産業を創造するまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・農林業や中小企業等への支援を強化し活力に満ちた豊かなまちづくりの推進 ・生き生きと働き、活躍できるまちづくりの推進
4 地域の資源を紡ぎ町のストーリーとして発信するまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな地域資源や交流から、新たな魅力を創出するまちづくりの推進 ・地域資源を活かし、まちの魅力を戦略的に発信するまちづくりの推進
5 交流と協働による、魅力あふれ、健全で持続可能なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・住民とともに築く自立したまちづくりの推進 ・豊かな暮らしを守る環境に配慮したまちづくりの推進 ・にぎわいと活気を生み出す活力あるまちづくりの推進